JR外房線

鎌取駅

【現　況】

鎌取駅は、1日平均乗車人員は約2万人、自転車等の乗入台数は約3,400台である。
駐輪場は南口側に8箇所、北口側に2箇所設置しており、収容台数は4,077台となっている。

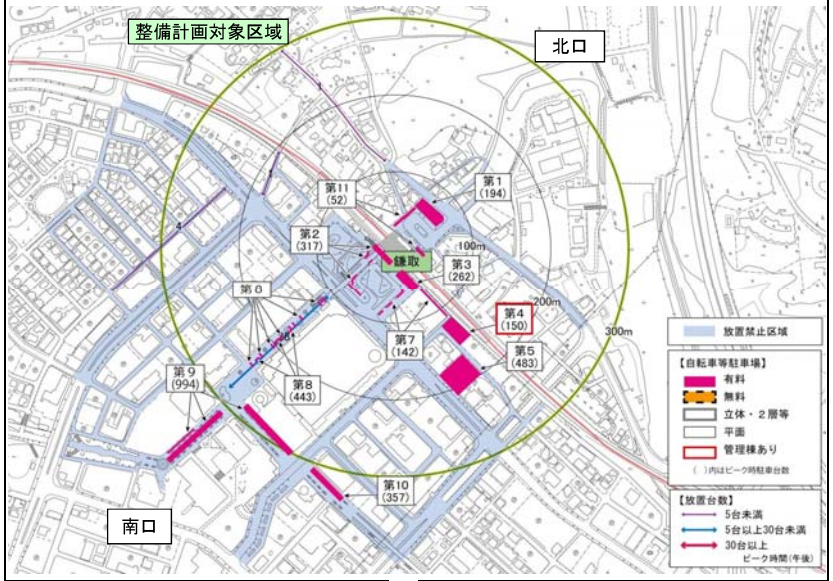
【整備計画】

南口では、推計台数が収容台数を下回ることから、第5駐駐輪場の区画変更及び第10駐輪場の縮小により対応する。
北口では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1、第11駐輪場の縮小を検討する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	3,427	3,394	33	4,077
自転車	3,214	3,182	32	3,867
原付	213	212	1	210



南口	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	3,181	3,148	33	3,637
自転車	2,999	2,967	32	3,463
原付	182	181	1	174

北口	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	246	246	0	440
自転車	215	215	0	404
原付	31	31	0	36

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
JR	19,841 人／日

（H26千葉市統計書）

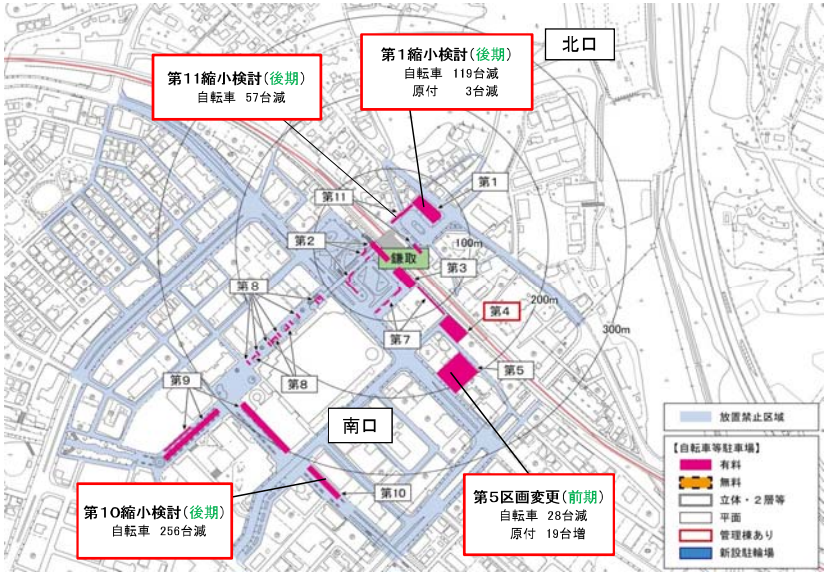
【需要推計】

鎌取駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は3,633台と推計しており、現在、収容台数を4,077台確保していることから充足している。

計画期間(H27)の伸び率	全体	自転車	原付	南口	自転車	原付	北口	自転車	原付
		1.06	1.06		1.06	1.06		1.06	1.06

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	3,427	—	3,633	0	3,633	4,077	－
自転車	3,214	1.06	3,407	0	3,407	3,867	－
原付	213	1.06	226	0	226	210	16



南口	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	3,181	—	3372	0	3,372	3,637	－
自転車	2,999	1.06	3179	0	3,179	3,463	－
原付	182	1.06	193	0	193	174	19

北口	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	246	—	261	0	261	440	－
自転車	215	1.06	228	0	228	404	－
原付	31	1.06	33	0	33	36	－

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	台数 整備(原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
南口	第2		340 (0)		340 (0)	164 (0)	164 (0)	—	市	市	市
	第3		260 (0)		260 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第4		135 (54)		135 (54)	10 (10)	10 (10)	—	市	市	市
	第5	区画変更	568 (120)	-9 (19)	559 (139)	30 (30)	30 (30)	前期	民	市	市
	第7		163 (0)		163 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第8		496 (0)		496 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第9		1,239 (0)		1,239 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第10	縮小検討	436 (0)	-256 (0)	180 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	計		3,637 (174)	-265 (19)	3,372 (193)	204 (40)	204 (40)				
北口	第1	縮小検討	333 (36)	-122 (-3)	211 (33)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	第11	縮小検討	107 (0)	-57 (0)	50 (0)	50 (0)	50 (0)	後期	市	市	市
	計		440 (36)	-179 (-3)	261 (33)	50 (0)	50 (0)				
駅計			4,077 (210)	-444 (16)	3,633 (226)	254 (40)	254 (40)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

JR外房線
誉田駅

【現　況】

誉田駅は、1日平均乗車人員は約6,800人、自転車等の乗入台数は894台である。
駐輪場は北口に1箇所、南口に3箇所設置しており、収容台数は1,441台となっている。

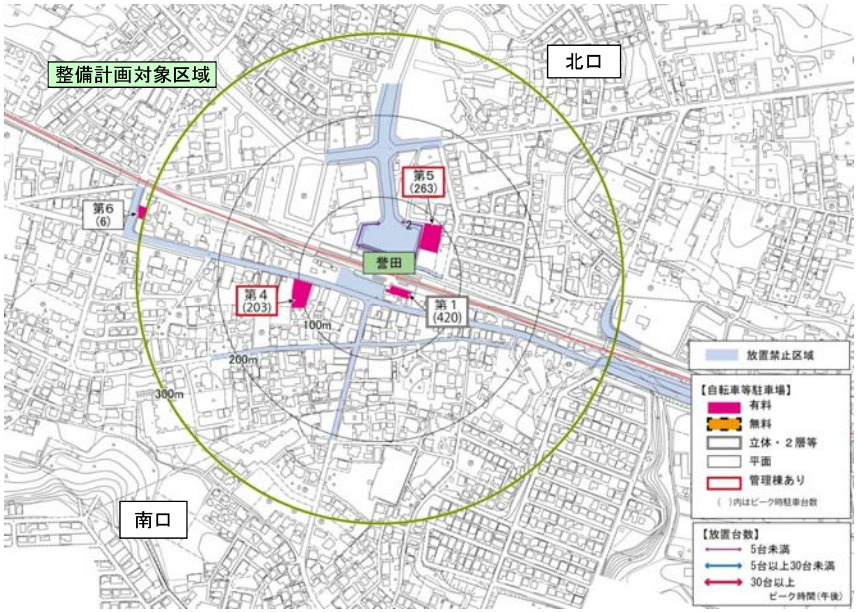
【整備計画】

北口では、推計台数が収容台数を下回ることから、駐輪場の整備は行わない。また、第5駐輪場の管理棟を廃止し、電磁ロック式ラックを導入する。
南口においても推計台数が収容台数を下回ることから、第6駐輪場の廃止、第4駐輪場の縮小を検討する。なお、第4駐輪場の縮小にあたっては、第1駐輪場の屋上階の有効活用の手法についても検討する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	894	892	2	1,441
自転車	811	809	2	1,316
原付	83	83	0	125



北口	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	265	263	2	464
自転車	234	232	2	419
原付	31	31	0	45

南口	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	629	629	0	977
自転車	577	577	0	897
原付	52	52	0	80

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
JR	6,765 人／日

（H26千葉市統計書）

【需要推計】

誉田駅周辺では、大規模な宅地開発(たかだの森ニュータウン)が進んでいることから、今後、急激な居住人口の増加が見込まれる。計画目標年次(平成33年)の乗入台数は966台と推計しており、現在、収容台数を1,441台確保していることから充足している。

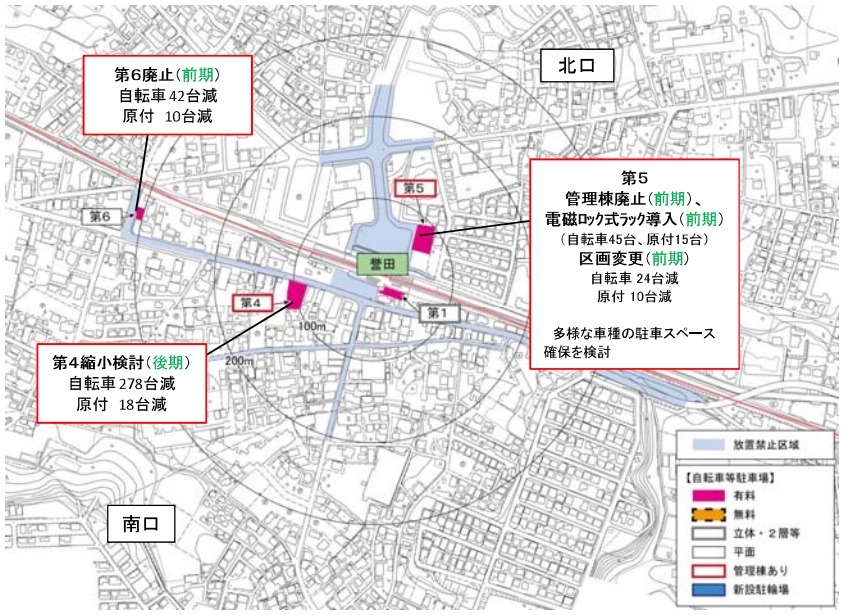
計画期間(H33)の伸び率	全体		北口		南口	
	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
	1.02	1.02	1.07	1.07	1.00	1.00

大規模宅地開発地区から想定される新たな乗入需要

	居住人口	想定乗入台数	建設スケジュール等
たかだの森ニュータウン地区	1650人	54台	北口需要：順次入居予定（入居開始済）

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	894	—	912	54	966	1,441	－
自転車	811	1.02	827	54	881	1,316	－
原付	83	1.02	85	0	85	125	－



北口	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	265	—	283	54	337	464	－
自転車	234	1.07	250	54	304	419	－
原付	31	1.07	33	0	33	45	－

南口	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	629	—	629	0	629	977	－
自転車	577	1.00	577	0	577	897	－
原付	52	1.00	52	0	52	80	－

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数			一時利用(内数)		整備時期	主体		
			現況(原付)	整備(原付)	計(原付)	現況(原付)	計画(原付)		用地	整備	運営
北口	第5	区画変更、管理棟廃止、電磁ラック	464 (45)	-34 (-10)	430 (35)	100 (10)	60 (15)	前期	市	市	市
計			464 (45)	-34 (-10)	430 (35)	100 (10)	60 (15)				
南口	第1		550 (0)		550 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第4	縮小検討	375 (70)	-296 (-18)	79 (52)	100 (10)	40 (15)	後期	市	市	市
	第6	廃止	52 (10)	-52 (-10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	前期	市	市	市
計			977 (80)	-348 (-28)	629 (52)	100 (10)	40 (15)				
駅計			1,441 (125)	-382 (-38)	1,059 (87)	200 (20)	100 (30)				

※主体欄　市：千葉市、県：千葉県、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

JR外房線

土気駅

【現 況】

土気駅は、1日平均乗車人員は約1万4千人、自転車等の乗入台数は約1,500台である。
駐輪場は北口に1箇所、南口に5箇所設置しており、収容台数は2,287台となっている。

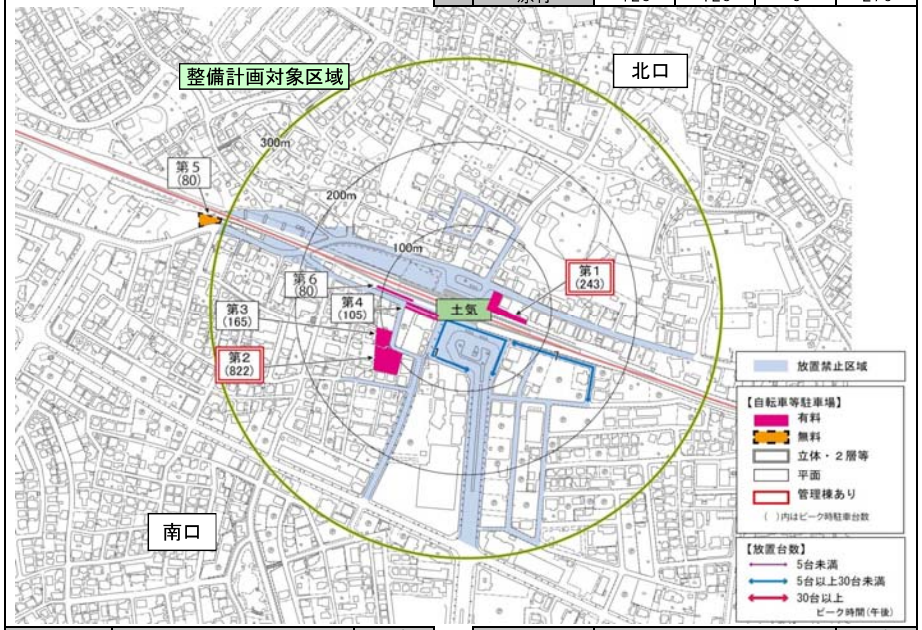
【整備計画】

南口では、推計台数が収容台数を下回ることから、第5駐輪場の廃止により対応する。
北口においても推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の屋上階を廃止し、有効活用の手法を検討する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	1,509	1,495	14	2,287
自転車	1,386	1,372	14	2,012
原付	123	123	0	275



南口	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,266	1,252	14	1,637
自転車	1,180	1,166	14	1,472
原付	86	86	0	165

北口	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	243	243	0	650
自転車	206	206	0	540
原付	37	37	0	110

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
JR	13,856 人／日

（H26千葉市統計書）

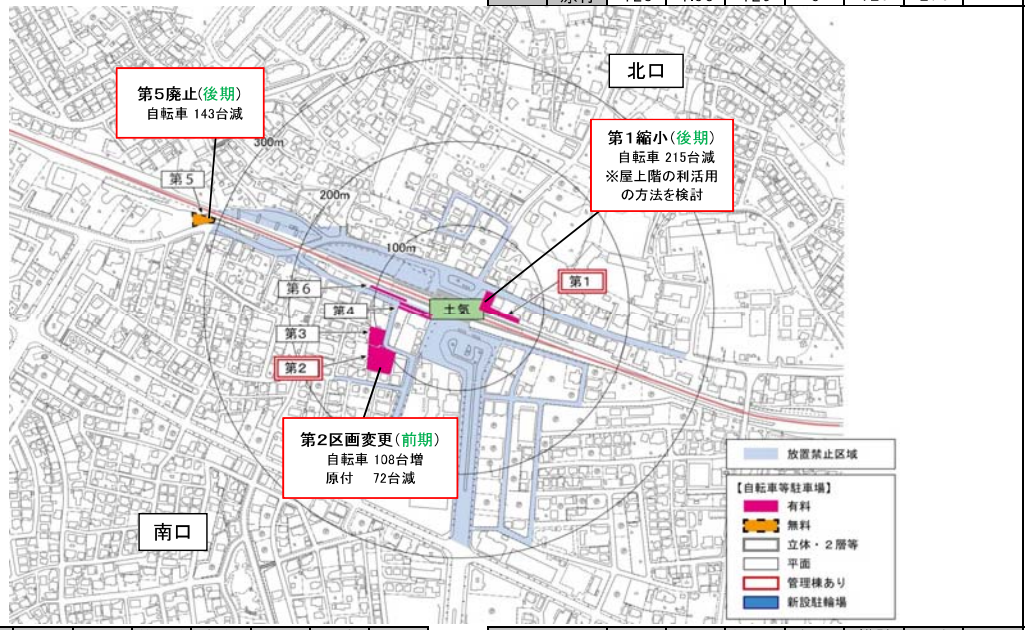
【需要推計】

土気駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は1,605台と推計しており、現在、収容台数を2,287台確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体			南口			北口		
	自転車	原付		自転車	原付		自転車	原付
	1.06	1.05		1.08	1.08		0.98	0.98

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,509	—	1,605	0	1,605	2,287	−
自転車	1,386	1.06	1,476	0	1,476	2,012	−
原付	123	1.05	129	0	129	275	−



南口	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,266	—	1,367	0	1,367	1,637	−
自転車	1,180	1.08	1,274	0	1,274	1,472	−
原付	86	1.08	93	0	93	165	−

北口	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	243	—	238	0	238	650	−
自転車	206	0.98	202	0	202	540	−
原付	37	0.98	36	0	36	110	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	台数 整備(原付)	台数 計(原付)	一時利用(内数) 現況(原付)	一時利用(内数) 計画(原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
南口	第2	区画変更	1,060 (155)	36 (−72)	1,096 (83)	10 (10)	10 (10)	前期	市	市	市
	第3		220 (10)		220 (10)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第4		104 (0)		104 (0)	104 (0)	104 (0)	—	市	市	市
	第5	廃止	143 (0)	−143 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	第6		110 (0)		110 (0)	0 (0)	0 (0)	—	JR	市	市
	計		1,637 (165)	−107 (−72)	1,530 (93)	114 (10)	114 (10)				
北口	第1	縮小検討	650 (110)	−215 (0)	435 (110)	100 (20)	100 (20)	後期	市	市	市
	計		650 (110)	−215 (0)	435 (110)	100 (20)	100 (20)				
駅計			2,287 (275)	−322 (−72)	1,965 (203)	214 (30)	214 (30)				

※主体欄　市：千葉市、県：千葉県、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

JR内房線

浜野駅

【現　況】

浜野駅は、１日平均乗車人員は約7,000人、自転車等の乗入台数は約1,000台である。
駐輪場は海側に1箇所、山側に2箇所設置しており、収容台数は1,925台となっている。

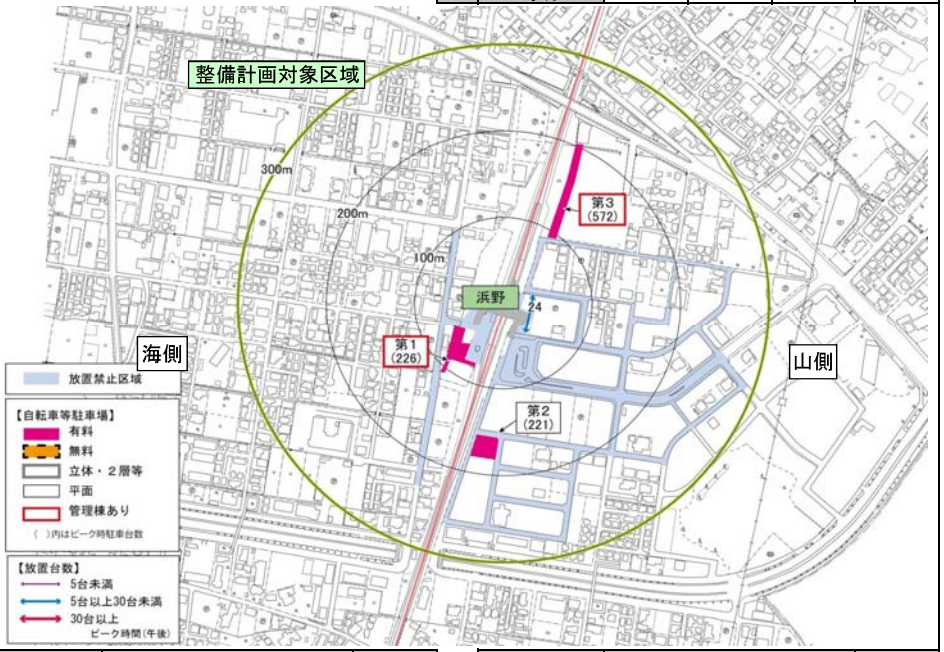
【整備計画】

海側では、推計台数が収容台数を下回っていることから、第1駐輪場の縮小を検討する。また、第1駐輪場に電磁ロック式ラックを導入するものとし、第1駐輪場の管理棟の廃止を検討する。
山側においても推計台数が収容台数を下回っていることから、第2、第3駐輪場の縮小を検討する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	1,043	1,019	24	1,925
自転車	997	973	24	1,794
原付	46	46	0	131



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	226	226	0	425
自転車	217	217	0	404
原付	9	9	0	21

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	817	793	24	1,500
自転車	780	756	24	1,390
原付	37	37	0	110

◆参考データ

駅利用	１日平均乗車人員(H25)
JR	7,049 人／日

（H26千葉市統計書）

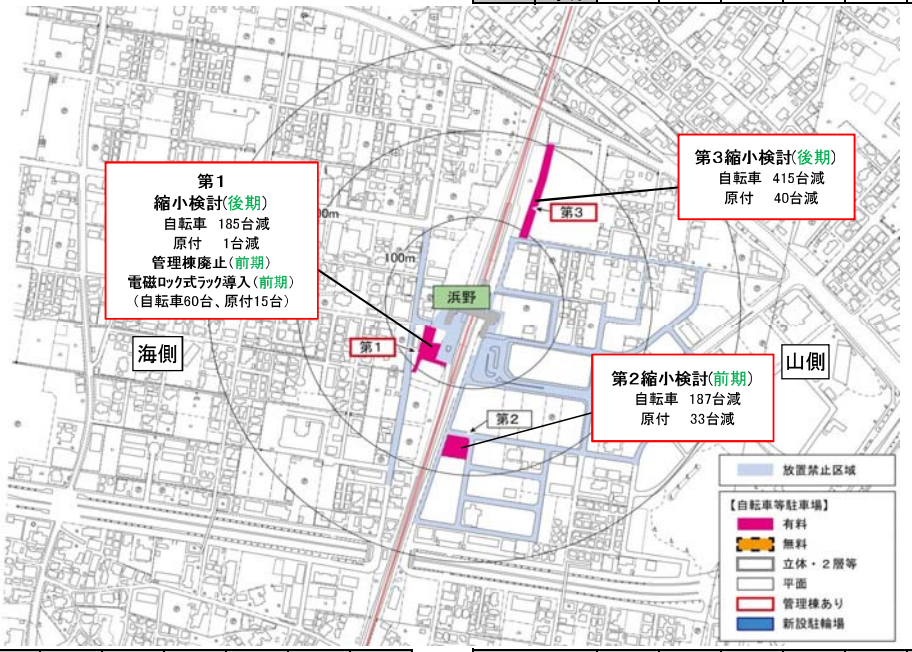
【需要推計】

浜野駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は1,053台と推計しており、現在、収容台数を1,925台確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体			海側			山側		
	自転車	原付		自転車	原付		自転車	原付
	1.01	1.00		1.01	1.01		1.01	1.01

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,043	—	1,053	0	1,053	1,925	－
自転車	997	1.01	1,007	0	1,007	1,794	－
原付	46	1.00	46	0	46	131	－



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	226	—	228	0	228	425	－
自転車	217	1.01	219	0	219	404	－
原付	9	1.01	9	0	9	21	－

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	817	—	825	0	825	1,500	－
自転車	780	1.01	788	0	788	1,390	－
原付	37	1.01	37	0	37	110	－

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	台数 整備(原付)	台数 計(原付)	一時利用(内数) 現況(原付)	一時利用(内数) 計画(原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側	第1	縮小検討、管理棟廃止（電磁ロック式ラック）	425 (21)	−186 (−1)	239 (20)	200 (20)	75 (15)	後期	市	市	市
	計		425 (21)	−186 (−1)	239 (20)	200 (20)	75 (15)				
山側	第2	縮小検討	600 (50)	−220 (−33)	380 (17)	0 (0)	0 (0)	前期	市	市	市
	第3	縮小検討	900 (60)	−455 (−40)	445 (20)	100 (10)	100 (10)	後期	JR	市	市
	計		1,500 (110)	−675 (−73)	825 (37)	100 (10)	100 (10)				
駅計			1,925 (131)	−861 (−74)	1,064 (57)	300 (30)	175 (25)				

※主体欄　市：千葉市、県：千葉県、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

JR京葉線

海浜幕張駅

【現　況】

海浜幕張駅は、1日平均乗車人員は約6万人、自転車等の乗入台数は約3,000台である。
駐輪場は4箇所設置しており、収容台数は3,164台となっている。

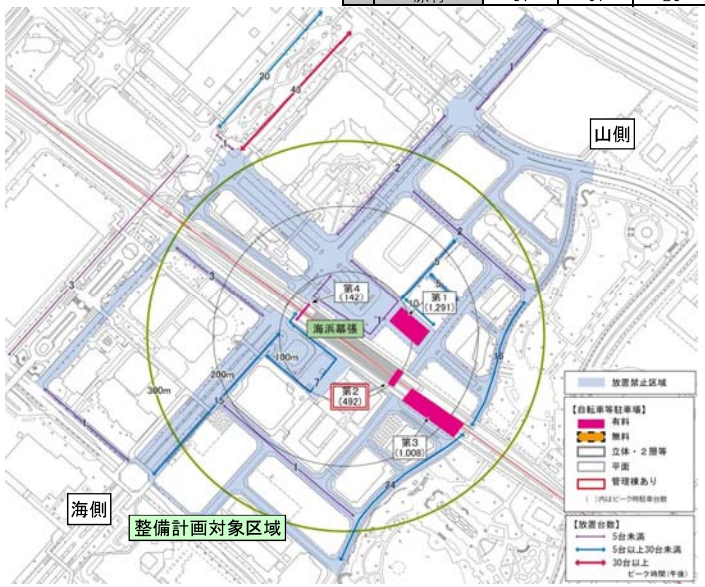
【整備計画】

山側では、推計台数が収容台数を上回り、収容台数の不足が見込まれることから、第1駐輪場の増設及び区画変更、第5・第6駐輪場の新設により対応する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	3,026	2,933	93	3,164
自転車	2,939	2,866	73	3,063
原付	87	67	20	101



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,447	1,396	51	1,709
自転車	1,411	1,368	43	1,669
原付	36	28	8	40

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,579	1,537	42	1,455
自転車	1,528	1,498	30	1,394
原付	51	39	12	61

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	59,515 人／日

（H26千葉市統計書）

【需要推計】

海浜幕張駅周辺では、若葉住宅地区や打瀬地区において大規模な住宅開発が予定されていることから、今後、急激な居住人口の増加が見込まれる。計画目標年次（平成33年）の乗入台数は3,770台と推計しており、現在の収容台数3,164台に対して606台の不足を見込んでいる。

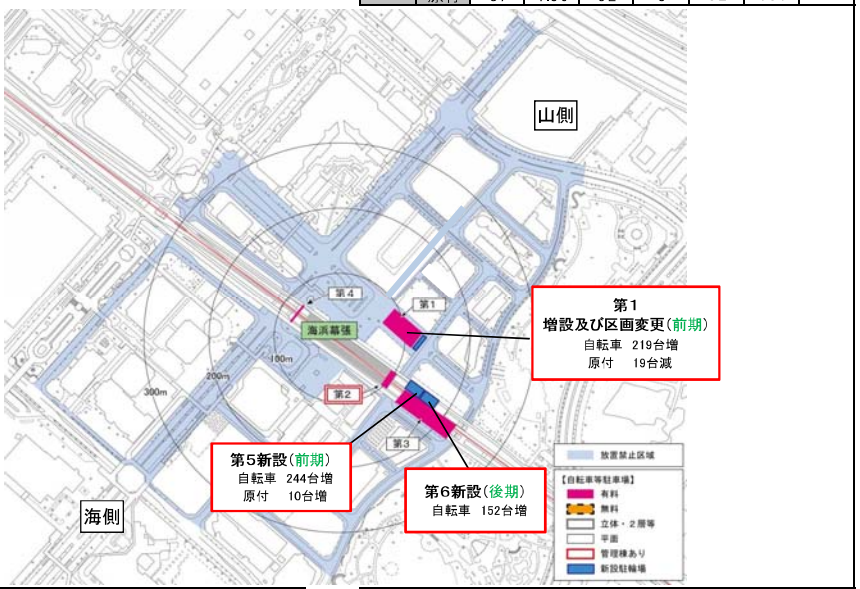
計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	自転車	原付	山側	自転車	原付
		1.07	1.06		1.12	1.12		1.02	1.02

若葉住宅地区等から想定される新たな乗入需要

	居住人口	想定乗入台数	建設スケジュール等
若葉住宅地区	4,500人	450台	山側需要：平成31年3月以降　順次入居予定
打瀬地区	893人	89台	海側需要：平成27年9月下旬以降　入居予定
合計	5,393 人	539台	

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	3,026	—	3,231	539	3,770	3,164	606
自転車	2,939	1.07	3,139	539	3,678	3,063	615
原付	87	1.06	92	0	92	101	−



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,447	—	1,620	89	1,709	1,709	−
自転車	1,411	1.12	1,580	89	1,669	1,669	−
原付	36	1.12	40	0	40	40	−

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,579	—	1,611	450	2,061	1,455	606
自転車	1,528	1.02	1,559	450	2,009	1,394	615
原付	51	1.02	52	0	52	61	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(内原付)	台数 整備(内原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側	第2		445 (0)		445 (0)	0 (0)	0 (0)	−	市	市	市
	第3		1,180 (40)		1,180 (40)	0 (0)	0 (0)	−	JR	市	市
	第4		84 (0)		84 (0)	84 (0)	84 (0)	−	市	市	市
	計		1,709 (40)	0 (0)	1,709 (40)	84 (0)	84 (0)				
山側	第1	増設及び区画変更	1,165 (61)	200 (−19)	1,365 (42)	190 (40)	777 (23)	前期	市	市・事業者	市
	第2		205 (0)		205 (0)	0 (0)	0 (0)	−	市	市	市
	第4		85 (0)		85 (0)	85 (0)	85 (0)	−	市	市	市
	第5	新設		254 (10)	254 (10)		0 (0)	前期	JR	市・事業者	市
	第6	新設		152 (0)	152 (0)		0 (0)	後期	JR	市・事業者	市
	計		1,455 (61)	606 −(9)	2,061 (52)	275 (40)	862 (23)				
駅計			3,164 (101)	606 −(9)	3,770 (92)	359 (40)	946 (23)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

JR京葉線

検見川浜駅

【現　況】

検見川浜駅は、1日平均乗車人員は約1万5千人、自転車等の乗入台数は約2,100台である。
駐輪場は海側に2箇所、山側に3箇所設置しており、収容台数は5,036台となっている。

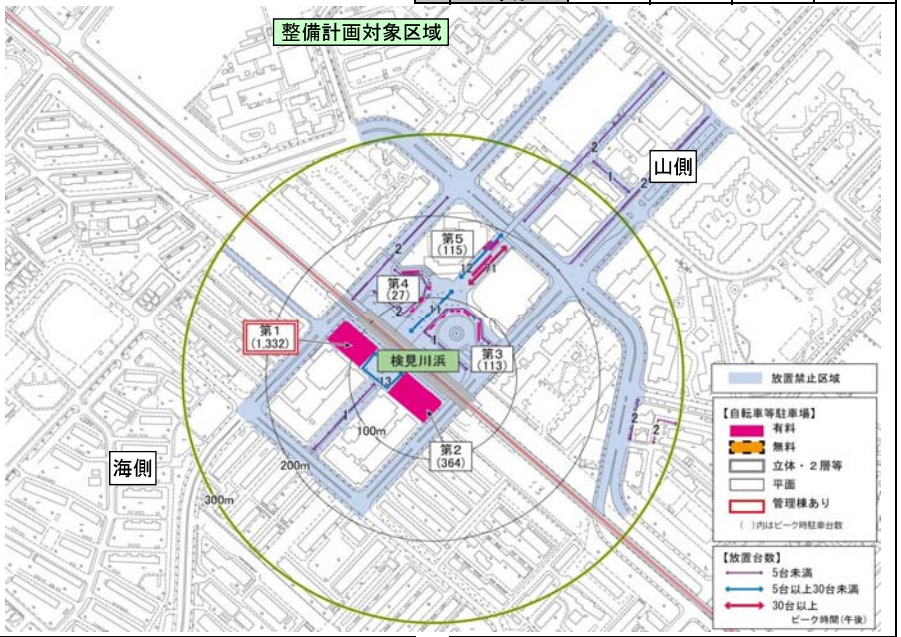
【整備計画】

海側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第2駐輪場の廃止を検討する。
山側では、推計台数が収容台数を上回ることから、駅広の路上に民設民営による駐輪場の設置を促進する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	2,069	1,951	118	5,036
自転車	2,009	1,891	118	4,876
原付	60	60	0	160



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,710	1,696	14	4,710
自転車	1,650	1,636	14	4,550
原付	60	60	0	160

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	359	255	104	326
自転車	359	255	104	326
原付	0	0	0	0

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
JR	15,365 人／日

（H26千葉市統計書）

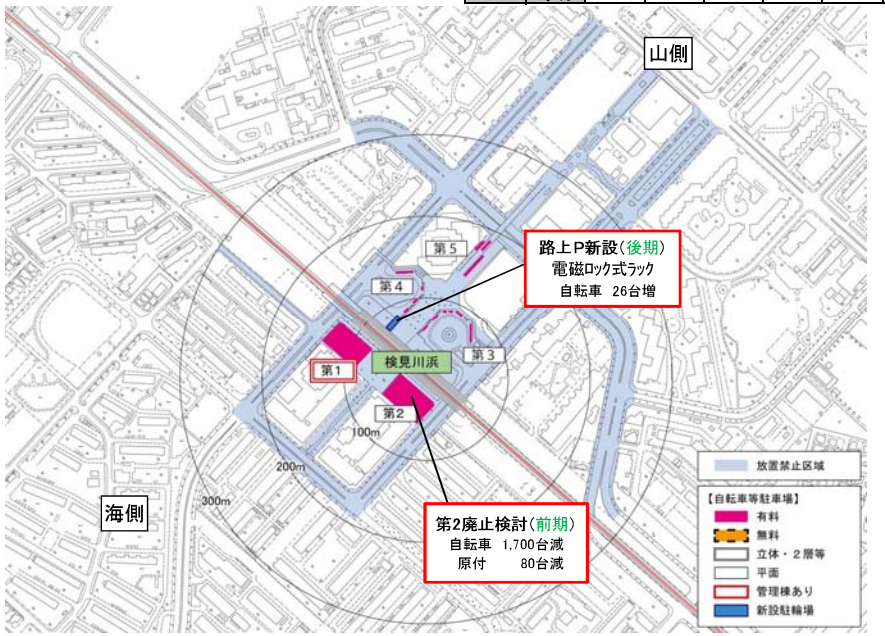
【需要推計】

検見川浜駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は1,977台と推計しており、乗入需要の減少傾向が見込まれる。なお、現在の収容台数は5,036台を確保していることから既に充足している。
山側における放置台数は、午後に増加する傾向があることから、買い物等の短時間利用者の駐車需要が見込まれる。

計画期間(H27)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	自転車	原付	山側	自転車	原付
		0.96	0.95		0.95	0.95		0.98	0.98

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	2,069	—	1,977	0	1,977	5,036	—
自転車	2,009	0.96	1,920	0	1,920	4,876	—
原付	60	0.95	57	0	57	160	—



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,710	—	1625	0	1,625	4,710	—
自転車	1,650	0.95	1568	0	1,568	4,550	—
原付	60	0.95	57	0	57	160	—

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	359	—	352	0	352	326	26
自転車	359	0.98	352	0	352	326	26
原付	0	0.98	0	0	0	0	—

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	台数 整備(原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側	第1		2,930 (80)		2,930 (80)	100 (10)	100 (10)	—	市	市	市
	第2	廃止検討	1,780 (80)	−1,780 (−80)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	前期	市	市	市
	計		4,710 (160)	−1,780 −(80)	2,930 (80)	100 (10)	100 (10)				
山側	第3		116 (0)		116 (0)	116 (0)	116 (0)	—	市	市	市
	第4		64 (0)		64 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第5		146 (0)		146 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	路上P	新設		26 (0)	26 (0)		26 (0)	後期	市	民	民
	計		326 (0)	26 (0)	352 (0)	116 (0)	142 (0)				
駅計			5,036 (160)	−1,754 (−80)	3,282 (80)	216 (10)	242 (10)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

JR京葉線

稲毛海岸駅

【現 況】

稲毛海岸駅は、1日平均乗車人員は約2万2千人、自転車等の乗入台数は約3,000台である。
駐輪場は海側に4箇所、山側に4箇所設置しており、収容台数は4,730台となっている。

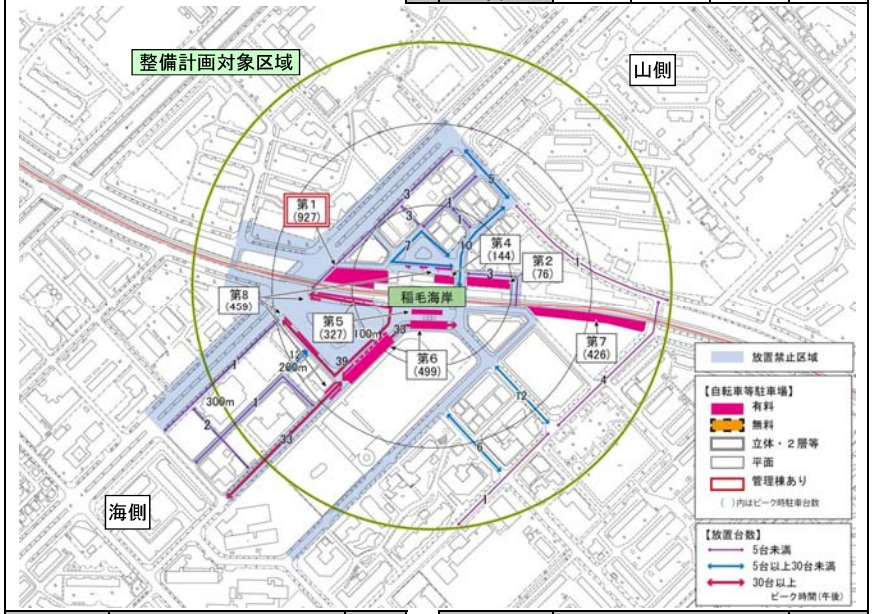
【整備計画】

海側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第7駐輪場の縮小を検討する。
山側においても推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小、第2駐輪場の廃止を検討する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	3,021	2,858	163	4,730
自転車	2,953	2,793	160	4,470
原付	68	65	3	260



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,841	1,711	130	2,770
自転車	1,819	1,690	129	2,650
原付	22	21	1	120

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,180	1,147	33	1,960
自転車	1,134	1,103	31	1,820
原付	46	44	2	140

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
JR	21,771 人／日

（H26千葉市統計書）

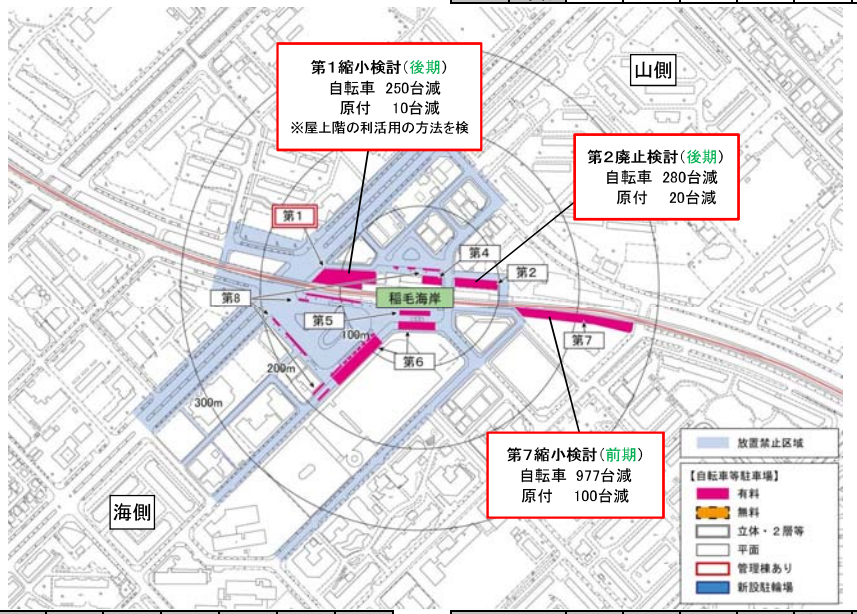
【需要推計】

稲毛海岸駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は2,920台と推計しており、現在、収容台数を4,730台確保していることから充足している。

計画期間(H27)の伸び率	全体			海側			山側		
	自転車	原付		自転車	原付		自転車	原付	
	0.97	1.00		0.92	0.92		1.04	1.04	

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	3,021	—	2,920	0	2,920	4,730	－
自転車	2,953	0.97	2,852	0	2,852	4,470	－
原付	68	1.00	68	0	68	260	－



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,841	—	1693	0	1,693	2,770	－
自転車	1,819	0.92	1673	0	1,673	2,650	－
原付	22	0.92	20	0	20	120	－

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,180	—	1,227	0	1,227	1,960	－
自転車	1,134	1.04	1,179	0	1,179	1,820	－
原付	46	1.04	48	0	48	140	－

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数			内 一時利用		整備時期	主体		
			現況(原付)	整備(原付)	計(内原付)	現況(内原付)	計画(内原付)		用地	整備	運営
海側	第5		420 (20)		420 (20)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第6		650 (0)		650 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第7	縮小検討	1,300 (100)	-1,077 (-100)	223 (0)	0 (0)	0 (0)	前期	市	市	市
	第8		400 (0)		400 (0)	400 (0)	400 (0)	—	市	市	市
	計		2,770 (120)	-1,077 (-100)	1,693 (20)	400 (0)	400 (0)				
山側	第1	縮小検討	1,300 (110)	-260 (-10)	1,040 (100)	100 (70)	100 (70)	後期	市	市	市
	第2	廃止検討	300 (20)	-300 (-20)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市・JR	市	市
	第4		260 (10)		260 (10)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第8		100 (0)		100 (0)	100 (0)	100 (0)	—	市	市	市
	計		1,960 (140)	-560 (-30)	1,400 (110)	200 (70)	200 (70)				
駅計			4,730 (260)	-1,637 (-130)	3,093 (130)	600 (70)	600 (70)				

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：H28～30 後期：H31～33

JR京葉線・千葉都市モノレール1号線

千葉みなと駅

【現　況】

千葉みなと駅は、JR線、モノレールを合わせた1日平均乗車人員が約2万3千人、自転車等の乗入台数は約600台である。駐輪場は海側に1箇所、山側に3箇所設置しており、収容台数は1,044台となっている。

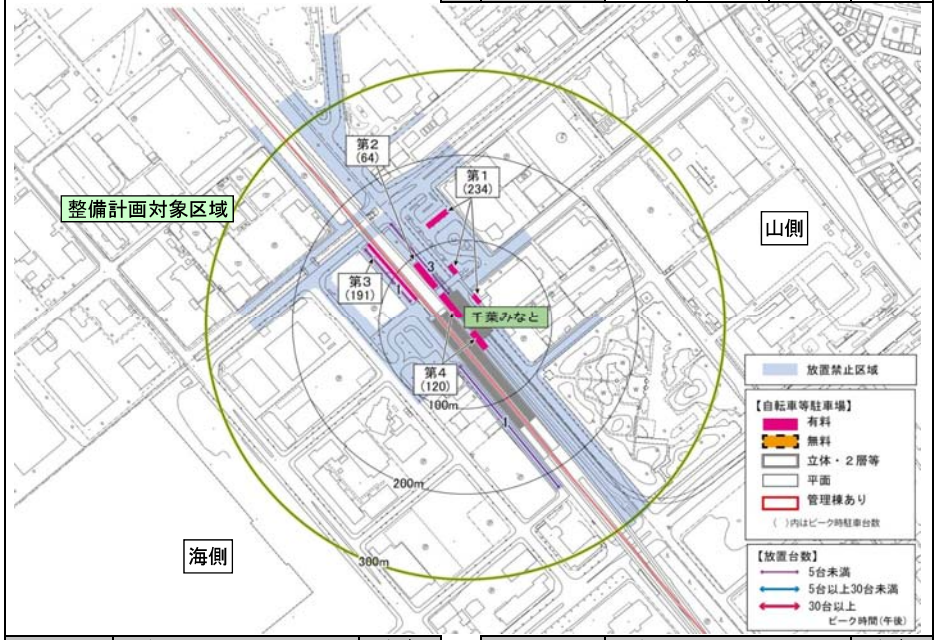
【整備計画】

海側は、推計台数が収容台数を下回ることから、第3駐輪場の縮小を検討する。
山側においても推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小を検討する。また、第4駐輪場に電磁ロック式ラックを導入するものとし、第1駐輪場の管理棟の廃止を検討する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	614	609	5	1,044
自転車	579	574	5	934
原付	35	35	0	110



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	193	191	2	410
自転車	181	179	2	362
原付	12	12	0	48

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	421	418	3	634
自転車	398	395	3	572
原付	23	23	0	62

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
JR	15,561 人／日
モノレール	7,157 人／日

（H26千葉市統計書）

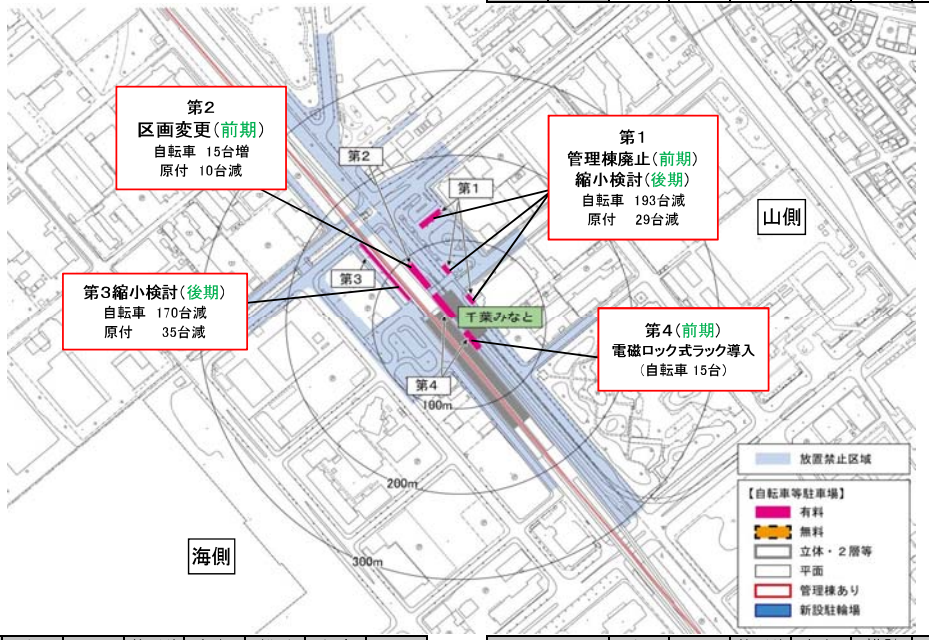
【需要推計】

千葉みなと駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は622台と推計しており、現在、収容台数は1,044台を確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	自転車	原付	山側	自転車	原付
		1.01	1.03		1.06	1.06		0.99	0.99

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	614	—	622	0	622	1,044	−
自転車	579	1.01	586	0	586	934	−
原付	35	1.03	36	0	36	110	−



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	193	—	205	0	205	410	−
自転車	181	1.06	192	0	192	362	−
原付	12	1.06	13	0	13	48	−

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	421	—	417	0	417	634	−
自転車	398	0.99	394	0	394	572	−
原付	23	0.99	23	0	23	62	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	台数 整備(原付)	台数 計(原付)	一時利用(内数) 現況(原付)	一時利用(内数) 計画(原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側	第3	縮小検討	410 (48)	−205 (−35)	205 (13)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	計		410 (48)	−205 (−35)	205 (13)	0 (0)	0 (0)				
山側	第1	縮小検討	306 (42)	−222 (−29)	84 (13)	100 (10)	0 (0)	後期	市	市	市
	第2	区画変更	123 (20)	5 (−10)	128 (10)	0 (0)	0 (0)	前期	市	市	市
	第4	電磁ロック式ラック導入	205 (0)		205 (0)	0 (0)	15 (0)	前期	市	市	市
	計		634 (62)	−217 (−39)	417 (23)	100 (10)	15 (0)				
駅計			1,044 (110)	−422 (−74)	622 (36)	100 (10)	15 (0)				

※主体欄　市：千葉市、県：千葉県、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

京成電鉄千葉線

検見川駅

【現　況】

検見川駅は、1日平均乗車人員は1,900人、自転車等の乗入台数は253台である。
また、駐輪場は海側に3箇所設置しており、収容台数は680台となっている。

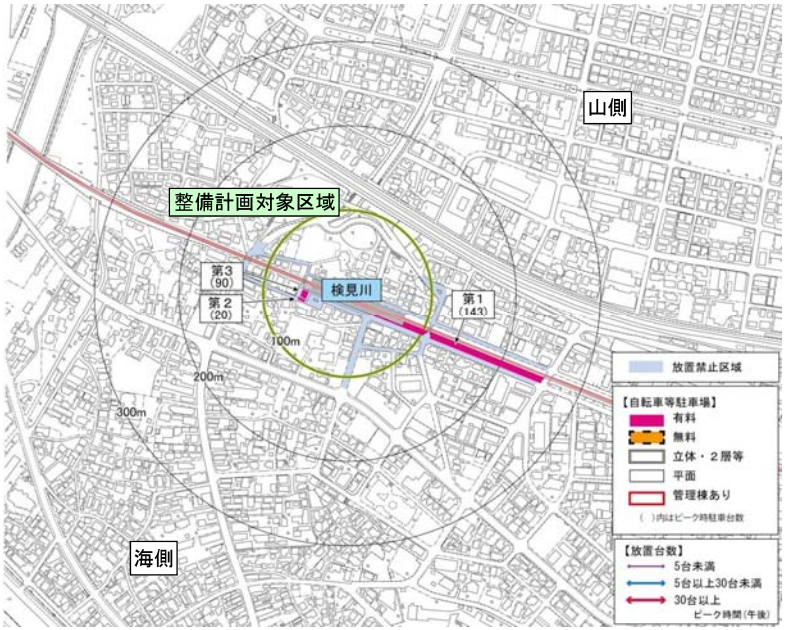
【整備計画】

海側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小により対応する。
山側では、駐輪場がないものの乗入台数がないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	253	253	0	680
自転車	243	243	0	608
原付	10	10	0	72



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	253	253	0	680
自転車	243	243	0	608
原付	10	10	0	72

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	0	0	0	0
自転車	0	0	0	0
原付	0	0	0	0

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	1,900 人／日

（H26千葉市統計書）

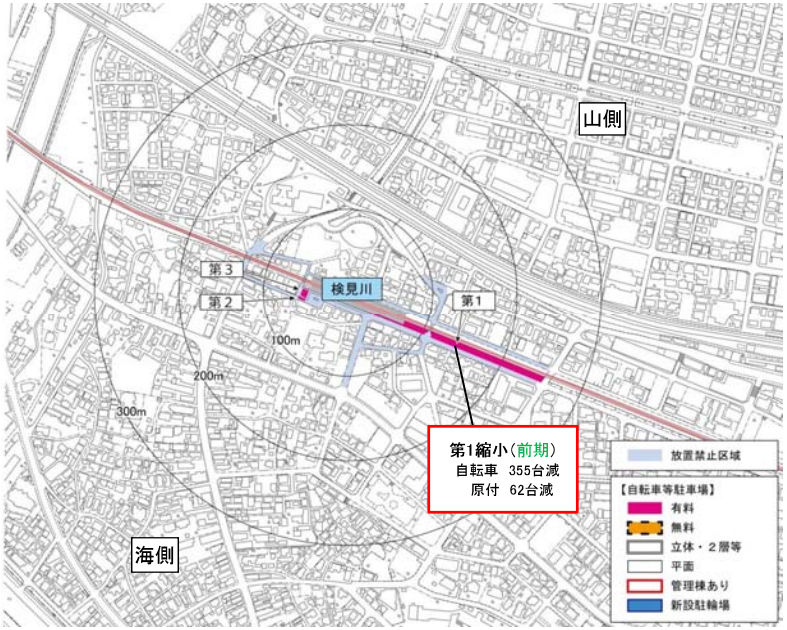
【需要推計】

検見川駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は263台と推計しており、現在、収容台数は680台を確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	自転車	原付	山側	自転車	原付
		1.04	1.00		1.04	1.04		0.99	0.99

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	253	—	263	0	263	680	−
自転車	243	1.04	253	0	253	608	−
原付	10	1.00	10	0	10	72	−



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	253	—	263	0	263	680	—
自転車	243	1.04	253	0	253	608	—
原付	10	1.04	10	0	10	72	—

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	0	—	0	0	0	0	−
自転車	0	0.99	0	0	0	0	−
原付	0	0.99	0	0	0	0	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(内原付)	台数 整備(内原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側	第1	縮小	570 (72)	-417 (-62)	153 (10)	0 (0)	0 (0)	前期	市	市	市
	第2		20 (0)		20 (0)	0 (0)	0 (0)	−	市	市	市
	第3		90 (0)		90 (0)	90 (0)	90 (0)	−	京成	市	市
	計		680 (72)	-417 (-62)	263 (10)	90 (0)	90 (0)				
山側					0 (0)						
					0 (0)						
計			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
駅計			680 (72)	-417 (-62)	263 (10)	90 (0)	90 (0)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

京成電鉄千葉線

京成稲毛駅

【現　況】

京成稲毛駅は、1日平均乗車人員は約3,300人、自転車等の乗入台数は405台である。
駐輪場は海側に1箇所、山側に1箇所設置しており、収容台数は570台となっている。

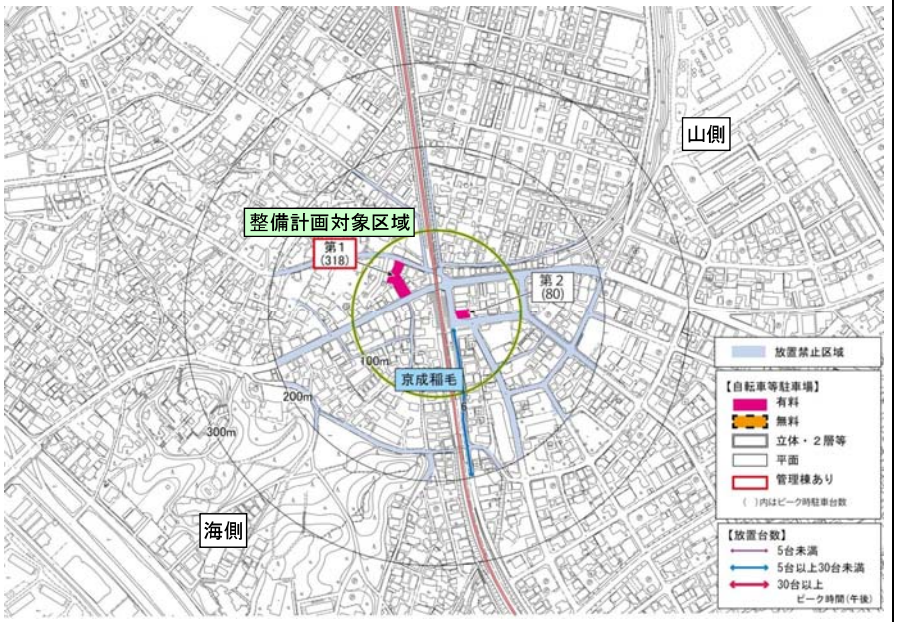
【整備計画】

海側及び山側では、推計台数が収容台数を下回ることから、駐輪場の整備は行わないものとする。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	405	398	7	570
自転車	395	388	7	520
原付	10	10	0	50



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	319	318	1	460
自転車	309	308	1	410
原付	10	10	0	50

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	86	80	6	110
自転車	86	80	6	110
原付	0	0	0	0

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	3,282 人／日

（H26千葉市統計書）

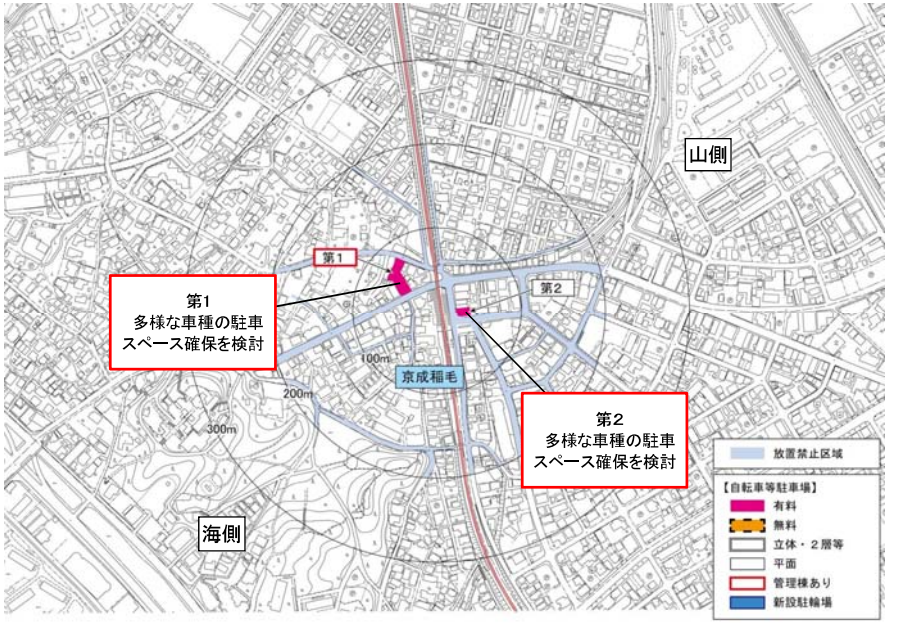
【需要推計】

京成稲毛駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は411台と推計しており、現在、収容台数は570台を確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	自転車	原付	山側	自転車	原付
		1.02	1.00		1.01	1.01		1.04	1.04

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	405	—	411	0	411	570	−
自転車	395	1.02	401	0	401	520	−
原付	10	1.00	10	0	10	50	−



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	319	—	322	0	322	460	—
自転車	309	1.01	312	0	312	410	—
原付	10	1.01	10	0	10	50	—

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	86	—	89	0	89	110	−
自転車	86	1.04	89	0	89	110	−
原付	0	1.04	0	0	0	0	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(内原付)	台数 整備(内原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側	第1		460 (50)		460 (50)	100 (10)	100 (10)	—	市	市	市
	計		460 (50)	0 (0)	460 (50)	100 (10)	100 (10)				
山側	第2		110 (0)		110 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	計		110 (0)	0 (0)	110 (0)	0 (0)	0 (0)				
駅計			570 (50)	0 (0)	570 (50)	100 (10)	100 (10)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33